

「豊かさや安らぎのある町」を実現するために

特集

令和2年度予算のあらまし

航空写真:松原誠氏撮影



令和2年度は、「自分たちの資源や強みを生かす」と「民間との協働」を2本柱に、「豊かさや安らぎのある町」のビジョンを実現するため、積極的な予算を編成しました。

税収が伸び悩む中での厳しい財政状況ですが、「実行の年」と位置づけ、子育て支援と防災対策、公共施設の利便性向上などに力を入れ、産学官の連携にも布石を打つとともに、行財政の“体質改善”を目的にスリム化への取り組みもスタートさせます。

ここでは、主要な事業を分野別に紹介します。

令和2年度予算 主要事業

1. 母子ファーストの子育て支援

■ 新こども館調査設計事業 317万円

老朽化している子育て支援拠点施設「こども館」の改築に向けて、子育て世代の方々などから意見やアイデアを募る機会を設け、より子育て支援が充実していくよう検討します。



■ 子育て世代包括支援事業 297万円



病院と連携し、産後健診や産後の心身ケア、育児サポートを実施。

▶ 2回の産後健診（産後2週間・4週間）のほか、宿泊型・デイサービス型・助産師訪問によるアウトリーチ型の産後ケアを新たに導入します。

児童の発達不安に対応するため、臨床心理士による療育相談を実施。

2.地域の守りを固める

松枝小学校屋内運動場(体育館) 空調機設置事業 490万円

夏季の学校活動における熱中症予防、災害時の避難所の環境向上のため空調機を設置。

▶ ふるさと納税を活用し、整備します。



自主防災組織育成事業 109万円



地域防災力の強化と防災リーダーの養成を支援。

- ▶ 防災士資格取得のための「地域防災リーダー育成講座」受講料を補助します。
- ▶ 地域防災力強化のため、自主防災会(町内会)の防災備品購入に対する助成制度を拡充します。

防犯対策事業 140万円

役場本庁舎、笠松中央公民館など公共施設4施設に防犯カメラを設置。

青色回転灯自主防犯パトロールの強化。



3.公共施設を使いやすくする

笠松中央公民館施設改修事業 431万円

1階の男性・女性トイレを全て洋式化。

- ▶ 現状の男性1基、女性1基から男性2基、女性3基に改修します。
- ▶ ふるさと納税を活用し、整備します。



公共施設フリーWi-Fi環境整備事業 331万円



町民利用者の多い役場本庁舎、笠松中央公民館、福祉健康センターに先行してWi-Fi環境を整備。

4.連携してまちづくりを彩る

官学連携事業 60万円



近隣の教育・研究機関との連携を通じて、地域社会の発展や人材育成に寄与。

- ▶ 住民と大学生が参加するワークショップを岐阜大学と共催するほか、歴史未来館開館5周年事業として、岐阜聖徳学園大学教授による「笠松隕石」の講演会を開催します。
- ▶ 岐阜工業高校生徒と子ども会インリーダー生が協働で行う名鉄笠松駅イルミネーション設置を補助します。

県内プロスポーツチーム支援 90万円

プロサッカーチームFC岐阜、プロバスケットボールチーム岐阜スワープスに広告提供を通して支援。

- ▶ 選手による小・中学生向けのスポーツ教室の開催や町内イベントへの参加を依頼し、スポーツ文化の醸成を図ります。



新しい広報戦略の展開

LINEをはじめとするSNSの公式アカウントを開設し、幅広い世代へ情報発信を展開。



※上記QRコードの読み取り、またはアカウント検索により、フォローいただけます。

5.財政のダイエツトに挑む ※金額は前年度当初予算との比較

公共施設清掃の見直し 約200万円削減

これまで日常清掃委託を実施していた箇所を職員で清掃を実施。



臨時雇用職員数の見直し 約820万円削減

令和2年度からの新制度である会計年度任用職員制度への移行を機に、適正な人員配置をするとともに、業務の一部をシルバー人材センターに外部委託することで、人件費を削減。

公用車運用の見直し 約628万円削減

老朽化した公用車を廃止し、運用方法などを見直すことで維持管理費を削減。



令和2年度当初予算の全体像

会計名	令和2年度	令和元年度	比較増減	対前年度伸率
一般会計	67億870万円	67億700万円	170万円	0.03%
国民健康保険特別会計	22億134万円	23億3,877万円	△1億3,743万円	△5.88%
後期高齢者医療特別会計	3億1,989万円	2億8,638万円	3,351万円	11.70%
介護保険特別会計	19億9,676万円	19億3,283万円	6,393万円	3.31%
水道事業会計	8億5,583万円	6億5,956万円	1億9,627万円	29.76%
下水道事業会計	14億1,312万円	14億2,232万円	△920万円	△0.65%
総 額	134億9,564万円	133億4,686万円	1億4,878万円	1.11%

町民一人あたりの予算内訳

(令和2年1月1日現在人口 22,227人)

	町の全般的な事務や 公共施設巡回町民 バスなどに 33,092円		乳幼児、保育などに 39,453円		高齢者・障がい者 福祉などに 73,291円
	健康診断・ 予防接種などに 11,969円		ごみ処理などに 31,867円		農業振興・ 産業振興などに 4,569円
	道路・河川・ 公園整備などに 22,846円		消防・防災・ 水防活動などに 17,762円		学校教育・ 社会教育などに 39,205円
	借入金の返済に 24,233円		国民健康保険・ 後期高齢者医療保険・ 介護保険事業などに 203,266円		上下水道事業などに 102,081円